

豊岡市地域デザインプラン素案の概要 【豊岡地域】

0. 豊岡市地域デザイン懇談会（豊岡地域キックオフミーティング）

令和3年4月17日(土)午後1時30分から、豊岡市民プラザ(アイティ7階)で、公共施設の現状と課題を共有し「豊岡市の未来に最適な公共施設のあり方とは何か」を考える懇談会を開催した。69人の市民の方が参加した。

<開催内容>

1. これまでの豊岡市の公共施設マネジメントの取組みについて
2. 基調講演(前橋工科大学工学部建築学科 堤准教授)
3. 公共施設の利用実態等の確認、共有
4. 鼎談(副市長、堤准教授、福知山公立大学杉岡准教授)



基調講演

鼎談

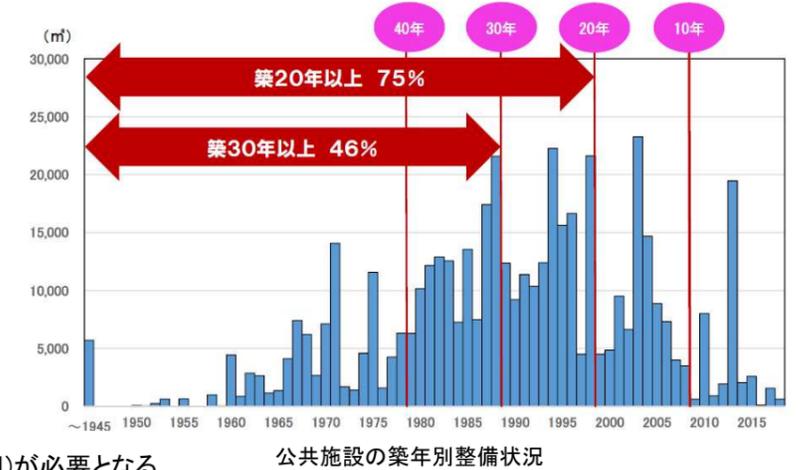
1. 地域デザイン懇談会の経過（豊岡地域）

開催日	会場・人数	テーマ	概要	議事概要	
				WSの結果	アンケートの結果
第1回 6月30日 (水) 19:00~	■会場: 豊岡市役所2階 大会議室 ■参加者人数: 35名	市民としての 公共施設に対する 意識共有	地区別(4テーブル)に分かれて、豊岡地域にある公共施設を、5つの指標を用いて定性的に評価した。	・各施設への定性的な評価や比較がされた。 ・地区毎に評価や利用状況等に対する意見があった。	・公共施設マネジメントについての理解が深まった。(回収34のうち31) (自由意見の抜粋) ・知らない、利用したことのない公共施設を知ることができた。
第2回 7月28日 (水) 19:00~	■会場: 市役所立野庁舎多目的ホール ■参加者人数: 29名	公共施設と 事業の整理	年齢別(4テーブル)に分かれて、公共施設の機能集約に向けて具体的に対話した。	・スポーツ施設に関する意見が多くあった。 ・施設のハコに対する意見よりも、サービスに対する意見が多くあった。	(自由意見の抜粋) ・世代が近いため発言しやすかった。 ・色々な年齢の方の意見を聞くことができた。
第3回 10月1日 (金) 19:00~	■会場: 八条地区 コミュニティセンター ■参加者人数: 27名	地域住民としての 公共施設に対する 意識共有	地区別(4テーブル)に分かれて、各地区の公共施設を、5つの指標を用いて定量的に評価した。	・各地区コミュニティセンターや小学校に関する利用状況や意見が多くあった。	(自由意見の抜粋) ・改めて身近な施設について考えることができた。 ・様々な世代・立場の方の意見を聞くことができた。
第4回 10月29日 (金) 19:00~	■会場: 豊岡健康福祉センター ■参加者人数: 23名	公共施設と 事業の整理	年齢別(4テーブル)に分かれて、施設の図面を用いて、機能集約に向けて具体的に対話した。	・市の公共施設の削減目標を再確認したことで統合・複合化の意見が増えた。 ・単に使わないからなくすのではなく、施設の機能から検討が必要。	(自由意見の抜粋) ・施設の見直しができ、具体的、有意義な話ができたと。
第5回 11月26日 (金) 19:00~	■会場: 豊岡市民会館 ■参加者人数: 21名	具体的な 市民生活 ガイド:アイデアの 再整理	年齢別(4テーブル)に分かれて、公共施設のあり方について、これまでのアイデアを踏まえて対話した。	・第4回までの意見・アイデアについて、各テーブルで再度議論を行った。	・公共施設の考え方が変わった(回答総数19のうち14) (自由意見の抜粋) ・各年代、地域の方と意見交換できてよかった。 ・利用したことのない施設について考えるのは難しかった。

2. 地域デザインプラン作成の趣旨

豊岡市の公共施設の現状と課題

- 保有量が多く老朽化する施設
 - ・574施設、総延床面積 48.7万㎡(市民一人当たり5.6㎡)を保有している。
 - ・築30年を経過した公共施設が2019年時点で46%あり、10年後にはその割合が75%になるため、今後多くの施設で改修や建替の時期が到来する。
 - ・現在の施設をそのまま維持・更新する場合の費用を試算すると、今後40年間で総額1,828億円(年平均約46億円)が必要となる。



■施設保有量の数値目標

- ・施設の更新に必要な約46億円に対して、充当できる経費は21.2億円/年(長期財政見通し(2016年5月公表)から試算)である。
- ・不足額の解消のためには、長寿命化(施設を有効活用して長く使用)とあわせて、40年間で公共施設の延床面積を34%削減することが必要となる。

地域デザイン懇談会の趣旨

地域のまちづくりや賑わいづくりを見据えながら、地域に必要な施設・公共サービス提供機能について、ワークショップを通して対話を行うため、旧市町単位を基本に地域デザイン懇談会を開催した。

地域デザインプラン作成の趣旨

地域デザイン懇談会(市民ワークショップ)での対話を通じて生まれた、地域内の公共施設へのアイデア等を、地域デザインプランとしてとりまとめ、今後の協議やプラン推進に活用する。

公共施設の「賢い使い方」をまとめよう

1. 必要な機能(市民サービス)を確保し市民の暮らしを守る。
2. 次世代に負担と責任を先送りしない。

「あったほうがいい」

転換

「本当に必要なもの(機能)を賢く使う」

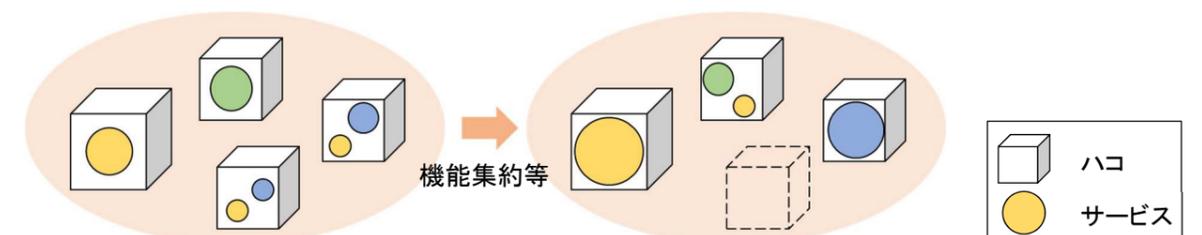
3. 地域デザインプランで掲げる “公共施設と共に歩む市民生活の将来像”

公共施設をスリム化しよう!

～無駄を減らし、心豊かに生きていくための小さな工夫を集めよう～

4. 地域デザインプラン(豊岡市の公共施設)の基本的な考え方

公共施設のハコは減らしても、サービス(機能)は減らさない。



豊岡市地域デザインプラン素案の概要 【豊岡地域】

5. 地域デザインプランのアイデア一覧

公共施設の種類	施設名称	公共施設を賢く使うためのアイデア(地域デザイン懇談会での検討結果)
01 庁舎等	豊岡市役所 豊岡市役所立野庁舎	【アイデア1】 コンセプト:立地を生かした、機能の集約・複合化―「統合」 ■地域内に分散している行政系施設は、立地利便性の高い施設に集約し、機能を強化する。 【アイデア2】 コンセプト:「継続」 ■施設の機能・サービスを拡充する。
02 その他行政系施設	市議会議場 豊岡稽古堂	【アイデア】 コンセプト:「継続」 ■歴史的な建築物を地域資源に
03 消防施設	防災センター 豊岡防災公園 消防本部・豊岡消防署	【アイデア】 コンセプト:「継続」 ■防災拠点
04 コミュニティセンター	各地区のコミュニティセンター	【アイデア】 コンセプト:世代間交流の場、地区住民の交流・連携を深める場、地域の防災拠点、気軽に誰でも利用できる場―「継続」 ■コミュニティセンターは地域のコミュニティスペースとして、誰もが利用しやすいよう利用方法を見直し、利用価値を高める。
05 文化施設	豊岡市民会館 豊岡市民プラザ	【アイデア1】 コンセプト:地域の団体の活動拠点―「継続」 ■施設の機能・サービスを拡充する。 【アイデア2】 コンセプト:立地を生かした、施設機能の複合化―「統合」 ■現状の施設・機能を維持していくために、より利用価値を高めていくための方法を検討する。
07 図書館	図書館本館	【アイデア】 コンセプト:勉強できる場―「統合」 ■図書館としての機能だけでなく、市民が利用できるコミュニティスペースとしての機能を複合化することを検討する。
08 博物館・資料館	コウノトリ文化館	【アイデア1】 コンセプト:コウノトリにふれあえる場、地域の風土を形成する要素―「統合」 ■機能が類似する施設が隣接して立地している場合には、1つの施設に集約することで、施設の利便性を高める。 【アイデア2】 コンセプト:「譲渡」 ■民間による施設の維持管理・運営を検討する。
09 社会教育施設	加陽水辺公園	【アイデア】 コンセプト:地域の自然環境にふれあえる場―「継続」
10 健康福祉施設	豊岡健康福祉センター	【アイデア1】 コンセプト:「統合」 ■老朽化した健康福祉施設は、近隣の新しい施設への機能移転を検討する。 【アイデア2】 コンセプト:「移転」 ■老朽化した健康福祉施設は、閉校・閉園する学校教育系施設の跡地への機能移転を検討する。
11 高齢福祉施設	長寿園	【アイデア1】 コンセプト:「統合」 ■空きスペースを活用し、老朽化した健康福祉施設の機能の移転先とする。 【アイデア2】 コンセプト:「移転」 ■高齢福祉施設については、より立地利便性の高い施設に移転、複合化することで利用価値を高める。
13 その他福祉施設	豊岡隣保館	【アイデア】 コンセプト:「移転」 ■機能は維持しつつ建物は廃止(譲渡等)を検討する。

公共施設の種類	施設名称	公共施設を賢く使うためのアイデア(地域デザイン懇談会での検討結果)
15 観光センター	まちなか交流館(豊岡1925) まちなかステーション(とよぶら)	【アイデア1】 コンセプト:民間で管理運営―「譲渡」 ■民間による施設の維持管理・運営を検討する。 【アイデア2】 コンセプト:歴史的な建築物を地域資源に―「継続」 ■建築物としての価値を生かし、周辺施設と連携することで施設利用価値を高める。
16 スポーツ施設	総合体育館 市民体育館 健康増進施設(ウェルストーク) 豊岡総合スポーツセンター 神美台スポーツ公園 玄武洞スポーツ公園	【アイデア1】 コンセプト:「継続」 ■興行による収益確保など、施設の維持管理費を捻出するための方法を検討する。 【アイデア2】 コンセプト:「移転」 ■老朽化したスポーツ施設は、新しいスポーツ施設に機能を移転・集約することで利用価値を高める。 ■老朽化したスポーツ施設は、地域内のスポーツ施設や学校施設等に分散して機能を移転する。 ■同じ機能のスポーツ施設が複数ある場合には、新しいスポーツ施設に統合する。 【アイデア3】 コンセプト:「検討」 ■スポーツの種目や利用者の属性・移動手段に応じて、複合化の可能性や移転先を検討する。 【アイデア4】 コンセプト:「譲渡」 ■民間による施設の維持管理・運営を検討する。
17 レク施設	豊岡市立奈佐森林公園	【アイデア】 コンセプト:地域の観光資源―「継続」 ■豊岡市内の他の類似施設と連携しつつ、個々に独自性をもった活用方法を検討する。
19 産業系施設	地域交流センター「コウノトリ本舗」	【アイデア1】 コンセプト:コウノトリにふれあえる場、地域の風土を形成する要素―「統合」 ■機能が類似する施設が隣接して立地している場合には、1つの施設に集約することで、施設の利便性を高める。 【アイデア2】 コンセプト:「譲渡」 ■民間による施設の維持管理・運営を検討する。
21 中学校	豊岡南中学校 豊岡北中学校	【アイデア】 コンセプト:「転用」 ■学校施設の空き教室を他の施設や機能の移転先として活用する。
22 小学校	各小学校	【アイデア1】 コンセプト:機能にとらわれず住民や学生・一般の人も使える空間、伝統芸能・文化・交流の場、地域のシンボル―「転用」 ■学校施設が閉校した場合には、民間による商業機能や図書館、行政サービスの窓口等、複合的な活用を検討する。 ■閉校した学校施設は、地域の伝統・文化・交流の場としての活用を検討する。 【アイデア2】 コンセプト:地域に開かれた体育施設、「譲渡」 ■閉校した学校施設の校舎については民間への売却を検討する。体育施設については、地域住民も利用できるよう維持管理を検討する。
27 放課後児童クラブ	各放課後児童クラブ	【アイデア1】 コンセプト:「統合」 ■近隣の放課後児童クラブと統合する。 【アイデア2】 コンセプト:「継続」 ■現状を維持する。